



建設新聞

KENSETSU SHIMBUN

仙台

'25.6.6

日本型枠工事業協会 X-605

100年を目指す一步に

創立50周年記念式典など開催

三野輪会長



日本型枠工事業協会（三野輪賢二会長）は5月29日、東京都千代田区丸の内、東京會館で創立50周年記念式典、祝賀会、記念講演会および2025年度総会を開催した。

記念式典の前に開催された総会の冒頭、三野輪会長

沼倉副会長（前列右から2人目）と宮城支部会員ら



創立50周年記念祝賀会

一般社団法人日本型枠工事業協会

は「国土交通省では、標準労務費について議論を重ねているが、この施策がわれわれ専門工事業界にとって有意義なものになると期待している」と述べた上で「本部では新規の担い手確保につながるよう『労務費の基準』の策定を支援し、適切な労務費の基準を実現する」と決意を述べた。

本年度の事業計画では▽型枠工事における「労務費の基準」の策定支援▽社会保険未加入対策の推進の継続▽CCUSの運用、建設技能者評価および専門工事は「国土交通省では、標準化施策への対応▽登録型枠基幹技能者育成事業の推進」などを行う。

続いて、総合人材サービス会社「ランスタッド」のセールス&ストラテジックアカウントマネジメント組織開発ディレクターの川西由美子氏が「現場力を高めるチームコミュニケーションを学ぶ産業組織心理学から解決の糸口を」と題し記念講演会を行った。記念式典では三野輪会長が「国は2012年以降、建設技能者の確保・育成に向け、さまざまな施策を強力に推し進めてきた。われわれも積極的に協力し、型枠工事業界でその施策を進める活動を行っている」と報告し「創立50周年を振り返りつつ、課題の解決に向けて活動を理解し、推し進めることが重要だ。本日の式典が次の100年を目指す第一歩としたい」とあいさつした。

引き続き、新シンボル

マーク、協会旗、イメージキャラクター「わくりん」の発表、協会活動として▽社会保険未加入問題への対応と社会保険加入推進活動▽型枠技能工の雇用実態調査▽型枠工事標準見積書作成システムの構築▽技能五輪国際大会参加▽型枠技能検定▽外国人材の確保のための取り組み▽技能工のCCUS登録推進と専門工事業社の施工能力の見える化について、成果および事業報告を行った。

記念祝賀会には、中野洋昌国土交通大臣、佐藤信秋参議院議員、国土交通省の平田研不動産・建設経済局長ら来賓のほか、全国支部会員ら合わせて約400人が出席し、親睦を深めた。

宮城支部長で日本型枠工事業協会の沼倉正也副会長は「50周年を機に、職人の処遇改善などをさらに推し進め、全国の会員が一丸となつて100年を目指していく」と話した。